

平成24年度

日本造園学会 関東支部大会

事例・研究報告集 第30号

支部大会 日程

開催日時:平成24年11月23日(金・祝)、24日(土)

開催場所:筑波大学 筑波キャンパス 体育・芸術エリア (〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1)ほか

発行者
小木曾 裕

■ 11月23日(金・祝) (集合・受付 9:30～)

現地見学会・現場セッション
「The つくばの魅力再発見」 10:00～17:00

案内:太田清澄(札幌学院大学)
鈴木雅和(筑波大学大学院)
村上暁信(筑波大学大学院)
関 俊介(都市再生機構茨城地域事業本部事業部)
日本造園学会関東支部幹事 島田知幸(都市再生機構)
日本造園学会関東支部幹事 黒田乃生(筑波大学大学院)

表紙デザイン
株式会社 フォーサイト

■ 11月24日(土) (受付 9:00～)

事例・研究発表会(口頭発表) 9:30～12:00

事例・研究発表会(ポスターセッション) 9:30～17:00
コアタイム
(12:00～13:00)

編集
粟野 隆
木下 剛
園井洋一

総合司会 13:00～17:20

日本造園学会関東支部幹事 阿部伸太(東京農業大学)

支部長・学会理事挨拶 13:00～13:10

日本造園学会関東支部支部長 小木曾 裕(都市再生機構)
日本造園学会副会長 下村彰男(東京大学大学院)

発行所
公益社団法人
日本造園学会
関東支部
〒271-8510
千葉県松戸市松戸648
千葉大学大学院
園芸学研究科内
kanto_jila@gmail.com

学生デザインワークショップ成果発表会 13:10～15:10

「原発の被害を受けた土地と向き合う」
司会:日本造園学会関東支部幹事 霜田亮祐(プレイスメディア)
チームA:「新しい住の受け皿としての石川郷～そしてエコロジカルシティへ」
チームB:「脱風評被害・強固な産業の創出」
チームC:「0×1000=0」
チームD:「SAKURA×CORRIDOR～風評被害を払拭する新たな提案～」
チームE:「藤田GO!!～ウチさ、くっか?～」
チームF:「ぐるりと藤田郷」

公開シンポジウム 15:20～17:20

「住み続けたいつくば、住み続けられるつくば」

司 会:日本造園学会関東支部副支部長 古谷勝則(千葉大学大学院)
開会挨拶:日本造園学会関東支部副支部長 町田 誠(東京都建設局)
基調講演:太田清澄(札幌学院大学)
話題提供:鈴木雅和(筑波大学)
田中伸彦(東海大学)
嶋 真史(筑波大学)
山田順之(鹿島建設)
コメンテーター:日本造園学会関東支部支部長 小木曾 裕(都市再生機構)
閉会挨拶:日本造園学会関東支部副支部長 戸田芳樹(戸田芳樹風景計画)

発行
2012年11月23日

印刷所
株式会社 三友社
〒162-0811
東京都新宿区
水道町1-13
TEL 03-3513-7911
FAX 03-3513-7913

交流会/支部表彰表彰式 17:30～19:30

司会:日本造園学会関東支部幹事 大橋尚美(戸田芳樹風景計画)

<主催> 公益社団法人 日本造園学会 関東支部
<共催> 筑波大学
<後援> つくば市、(独)都市再生機構 首都圏ニュータウン本部 茨城地域事業本部

目次
プログラム

●事例・研究報告

第1会場

<口頭発表> 9:30～ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

9:30～ 9:45	1 造園における拡張現実感(AR)の利用 吉川皓唯・國井洋一	1
9:45～10:00	2 国立市大学通りの景観に対する3DCGによる視覚化 木内のどか・國井洋一	3
10:00～10:15	3 スライド写真を用いて緑量を変化させたときの東京スカイツリーからの眺望景観の心理的評価 広永勇三・細野哲央・小林 司	5
10:15～10:30	4 田村剛による国立公園の選定における風景評価 水内佑輔・古谷勝則	7
10:30～10:45	5 国立公園における産業に着目した景観構造について 大貫菜々穂・荒井歩	9
10:45～11:00	6 明治神宮御境内林苑計画における林苑の設計思想の考察 横関隆登	11
11:00～11:15	7 善光寺表参道としての長野中央通りにおける景観の形成に関する考察 横関隆登	13
11:15～11:30	8 景観を活かした御師宿坊集落の活性化提案 —伊勢原市大山をケーススタディとして— 坪田陽子・高梨武彦・菅 博嗣	15
11:30～11:45	9 ムサシトミヨと共存する地域づくりへの考察 —「里川」から「郷土力」を育む— 小田美幸・高梨武彦・菅 博嗣	17

第2会場

<口頭発表> 9:30～ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

9:30～ 9:45	1 土地利用にもとづく地域区分からみた震災時における情報入手・伝達方法の特性 王尾和寿・温井達也・藤井さやか	19
9:45～10:00	2 公共図書館利用者による市街地活性化効果の検証-高崎市中心市街地活性化事業を事例として- 藤岡朋子・歳森 敦	21
10:00～10:15	3 那覇市内における建物緑化事例の事前評価研究 加藤真司・岩田 司・石井儀光・鈴木雅和	23
10:15～10:30	4 歴史まちづくり法認定都市における歴史的建造物の復旧過程に関する調査 曽根直幸	25
10:30～10:45	5 地中海沿岸都市におけるオープンスペースの配置特性に関する考察 阿部伸太	27
10:45～11:00	6 リバプール市のグリーンインフラ戦略にみるグリーンインフラの概念と計画論的意義 木下剛・芮京禄	29
11:00～11:15	7 欧州ランドスケープ条約の各国の取り組み状況にみるランドスケープ行政の特徴 芮京禄・木下剛	31
11:15～11:30	8 海外の桜名所研究～「海外の日本庭園研究」を踏まえたランドスケープ研究対象としての考察～ 鈴木 誠	33
11:30～11:45	9 姉妹都市交流を起因とした海外の日本庭園に関する研究 牧田直子・服部 勉・鈴木 誠	35

第3会場

<口頭発表> 9:30～ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

9:30～ 9:45	1 中国長白山麓下二道崗村における井幹式民家の集落の特徴に関する研究 高 松花・黒田乃生	37
9:45～10:00	2 千葉県における千年村の地形立地と水系との関係 梶尾智美・高橋大樹・桃井佳奈子・木下 剛	39
10:00～10:15	3 香取市における千年村の地形立地と地名学的考察 高橋大樹・宇田川大介・梶尾智美・桃井佳奈子・木下 剛	41
10:15～10:30	4 つくば市洞下集落における屋敷林の変容と民家の敷地内空間構成の関係 小森美咲・村上暁信	43
10:30～10:45	5 都市農村交流体験と連動した里山樹種による都市緑化の可能性 七海絵里香・大澤啓志	45
10:45～11:00	6 東日本大震災の復興計画における土地利用構想図の分析 勝美直光・秋田典子	47
11:00～11:15	7 環境影響評価における第3者機関の有用性の考察—東京外かく環状道路(千葉県区間)をケーススタディとして— 茂呂枝里奈・秋田典子	49
11:15～11:30	8 ジオパーク方式による持続可能な地域マネジメント手法の検討 磯部有喜・秋田典子	51
11:30～11:45	9 二宮尊徳の報徳仕法におけるまちづくりについて 諸石貴英・荒井 歩	53

第4会場

〈口頭発表〉 9:30～ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

9:30～ 9:45	1 歴史公園における歴史文化的資源利活用の現状と課題 堀江典子	55
9:45～10:00	2 職能教育としての公園管理運営士認定試験制度 平松玲治	57
10:00～10:15	3 歴史公園における花の活用に関する考察 青木明代・堀江典子・平松玲治	59
10:15～10:30	4 中国における世界文化遺産の管理運営に関する研究—福建土楼を事例として 何 銀春・黒田乃生	61
10:30～10:45	5 一乗谷朝倉氏遺跡整備における排水対策の変遷 小堀貴子・赤坂 信	63
10:45～11:00	6 施工・管理に用いる造園道具の実態とその変遷 井上 瞳・森山奈美・内田 均	65
11:00～11:15	7 地上型3DLSによる旧前田邸和館及び庭園の計測とその利用について 吉松舞美・國井洋一	67
11:15～11:30	8 3Dレーザスキャナによるかすみ堤の計測および機能性の把握 石崎芽衣・國井洋一・井上三男	69
11:30～11:45	9 GPSと写真測量との併用による文化財の効率的計測手法について 國井洋一	71

第5会場**<口頭発表> 9:30～ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分**

9:30～ 9:45	1 水戸市セツ洞公園にみる公共における英国庭園運営管理の現状と課題 西澤 瞳・鈴木雅和	73
9:45～10:00	2 江東区と民間デベロッパーの協働～東京都発・官民一体のコミュニティ ガーデンづくり～ 石澤義久・清田秀雄・牧野ふみよ・鎌田菜穂子	75
10:00～10:15	3 江東区におけるみどりの協働～その現状と課題～ 清田秀雄	77
10:15～10:30	4 ドッグランにおける犬ブルセラ病対応について 近江慶光・長澤美穂	79
10:30～10:45	5 街区公園における誘致圏と利用実態に関する考察 飯塚智・小木曾裕	81
10:45～11:00	6 建替団地内の緑地再整備による団地居住者と地域住民の印象及び利 用の変化 小木曾裕・根本和晃・藤崎健一郎	83
11:00～11:15	7 建替団地における住民が主体となった共同花壇の持続的運営に関する 取組み 佐藤浩幸・須田暁憲・若山治憲・石井ちはる・志村 勝	85
11:15～11:30	8 緑地保全活動参加に対する大学生の課題意識に関する研究 高瀬 唯・古谷勝則	87
11:30～11:45	9 多摩ニュータウンの団地植栽と住民の活動から見るみどりの質の向上 角田基世・宮内泰之	89

第6会場

<口頭発表> 9:30～ 発表時間1題 12分 質疑・交代時間 3分

9:30～ 9:45	1 下草管理が里山の夜間冷気の移流に与える影響 王彦・村上暁信	91
9:45～10:00	2 多彩な花空間における誘致昆虫相の実態とその要因 -晴海アイランド・トリトンスクエア・ガーデンを事例として- 七澤 寛・近藤三雄	93
10:00～10:15	3 公園緑地における放射性物質の除染事業の先駆的取組みと評価 -千葉県松戸市を事例として- 近藤三雄	95
10:15～10:30	4 コケ植物による放射性物質の吸着・集積能に関する調査研究 金子亮太・水庭千鶴子・近藤三雄	97
10:30～10:45	5 中国における緑化用樹木の生産ならびに需要動向の現状と課題 李 佳・近藤三雄	99
10:45～11:00	6 芳香性植物の香りの強度と人の心理・生理反応から見た適正な植栽位置についての研究 内田亜由美・近藤三雄	101
11:00～11:15	7 緑の除染手法の提案と評価 -これまでの成果と課題- 近藤三雄・水庭千鶴子	103
11:15～11:30	8 水生植物の膨潤進化について 武村敏彦	105
11:30～11:45	9 汽水域における生物多様性保全に資する公園施設「潮入の池」について 持田太樹・野田隆弘・折原夏志・小木曾裕	107
11:45～12:00	10 仙台市荒浜における海浜植生復元に関する報告 押田佳子	109

1	3Dレーザスキャナによる小田原城天守閣計測 大戸 萌・國井洋一	111
2	清閑亭庭園に対する3次元測量および図化について 遠藤貴広・國井洋一・粟野 隆	111
3	写真測量による雪舟庭園の計測 三浦菜々緒・國井洋一	111
4	個人庭園における地上型3Dレーザスキャナによる計測と平板測量との比較 金井大輔・國井洋一	111
5	広島市における被爆樹木の生きる戦争遺産としての現状 大脇なぎさ・鈴木雅和	112
6	筑波大学における植物の成長と景観デザインの関係性について 稲見不二意	112
7	都市住民の植物や緑地に対する意識調査一年齢層による比較 李 政一・岩崎 寛・那須 守・金 侑映・高岡由紀子・石田 都・大塚芳嵩	112
8	中国における病院緑化に対する意識に関する研究ー日本の病院緑化との比較 周 瑾・岩崎寛	112
9	都内オフィス街の緑地空間におけるベンチ利用の現状に関する研究 関根詩織・大塚芳嵩・岩崎 寛	113
10	花の色の嗜好性に関する基礎的研究 船木啓祐・伊勢田直子・岩崎 寛	113
11	チベット仏教の聖地アラシャン北寺における歴史的な変遷とエコツーリズム 韓 国栄・古谷勝則・青 布仁	113
12	「全国都市緑化フェア」の成果を継承した県民参加による都市緑化及び地域活性化の取り組みについて 宮下邦彦・金子隆行	113
13	札幌市における地域内排雪のための街区公園設計提案 吉村朋子・木下 剛	114

14 福島県岩瀬牧場の開設以前の経緯と、土地利用の骨格 大島 卓・鈴木雅和	114
15 緑地を対象にした市民活動に関する研究の変遷 高瀬唯・古谷勝則・櫻庭晶子	114
16 住民参加型公園緑地づくりにおける設計者の関わり方についての調査 松本亜味・阿部伸太	114
17 団地における住民が手を加えられる空間の利用実態と有効性に関する調査 松村洋平・阿部伸太	115
18 田瀬理夫の設計にみるエコロジカルなランドスケープデザイン手法について 田中秀樹・大澤啓志	115
19 屋久島の観光事業者の考える観光客の意識に関する研究 小菅貴史・古谷勝則	115
20 オーストラリアのオライリー・ゲストハウスにおける宿泊施設的环境配慮の取り組みについて 小菅貴史・古谷勝則	115
21 インドネシア西ジャワ州プルワカルタのGrama Tirta Jatiluhur (GTJ)におけるエコツーリズムのランドスケープ計画と観光プログラム Prita Indah Pratiwi・古谷勝則	116
22 小規模公園における高齢者の利用動向とニーズについて—藤沢市六会地区公園再整備事業に向けて— 苅部裕子・葉山嘉一	116
23 サンシャイン水族館における亜熱帯植物を多用した屋上緑化の設計・施工及び維持管理について 森戸 淳平・野上 基・桑園亜希子・鈴木信晶	116

資料

公益社団法人 日本造園学会 関東支部

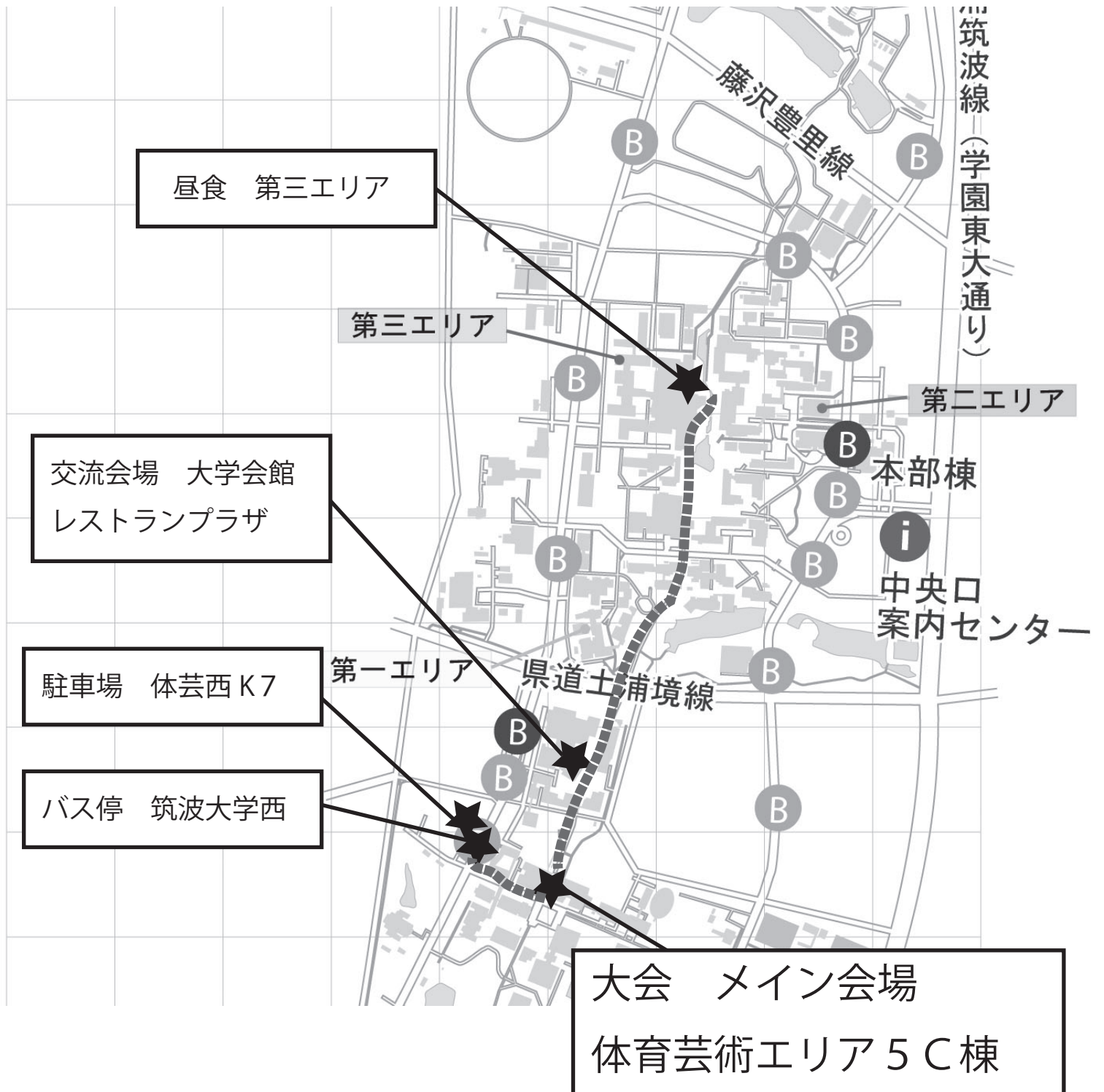
◆ 公益社団法人 日本造園学会 関東支部 平成23年度幹事会(第4回～第5回) 議事録	117
◆ 公益社団法人 日本造園学会 関東支部 平成23年度支部総会 議案書	122
◆ 公益社団法人 日本造園学会 関東支部 平成24年度幹事会(第1回～第3回) 議事録	127
◆ 平成24年度 公益社団法人 日本造園学会 関東支部大会 事例・研究報告集 執筆要領	136
◆ 平成24・25年度 公益社団法人 日本造園学会 関東支部役員名簿	140
◆ 公益社団法人 日本造園学会 関東支部 規程	141

平成 24 年 11 月 24 日 (土)

平成 24 年度日本造園学会関東支部大会

メイン会場：筑波大学体育芸術エリア 5 C 棟

交流会場：大学会館レストランプラザ



■■■■■ 歩行者専用 (ペDESTリアン)

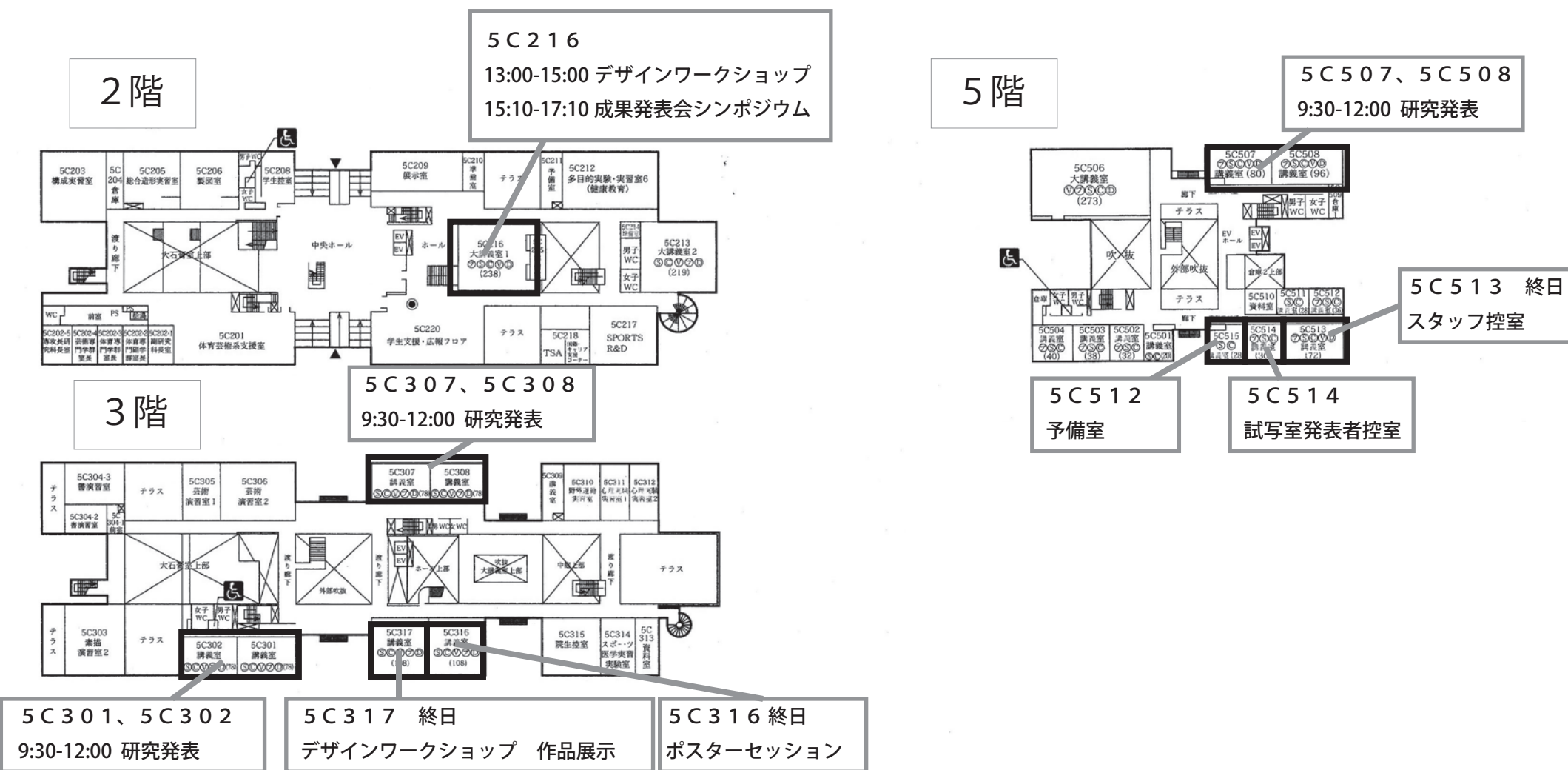
キャンパスマップ 南地区





平成 24 年 11 月 24 日 (土)

平成 24 年度日本造園学会関東支部大会 会場：筑波大学体育芸術エリア 5 C 棟



The つくばの魅力発見

■開催日：平成24年11月23日(金・祝)・24日(土)

■場所：筑波大学筑波キャンパス体育・芸術エリア(茨城県つくば市天王台1-1-1)・ほか

■日程

11月23日(金)つくば市内

現地見学会・現地セッション「The つくばの魅力発見」(参加申し込み案内)

11月24日(土)筑波大学筑波キャンパス体育・芸術エリア5C棟(受付9:00~)

9:30~12:00 事例・研究発表会

9:30~17:00 ポスターセッション(コアタイム/12:00~13:00)

13:00~15:10 学生デザインワークショップ成果発表会『テーマ：原発の被害を受けた土地と向き合う~クールスポット福島県石川町を事例として~』

15:20~17:20 公開シンポジウム 『住み続けたいつくば、住み続けられるつくば』【シンポジウムのみ参加は無料】

基調講演：太田清澄(札幌学院大学) 「新都市のみどりの系の構築」

話題提供：鈴木雅和(筑波大学) 筑波山梅林再生プロジェクト

田中信彦(東海大学) ディスティネーションとしての里山管理

嶋 真史(筑波大学大学院生) つくば市北条地区の竜巻被害と復興の方向性

山田順之(鹿島建設) 生物多様性都市のデザイン「いきものにぎわうまち」

コメンテーター：小木曾裕(造園学会関東支部長/独立行政法人都市再生機構)

17:30~19:30 交流会/支部表彰表彰式

■現地見学会・現地セッション『The つくばの魅力発見』(11月23日/10:00~17:00)【事前申し込み制】

●現地見学：午前/つくば学園都市の見学(赤塚公園、洞峰公園、つくばセンター)、午後/筑波山梅林、北条地区(まちなみ、旧矢中邸)の見学

●現場セッション：宮清大蔵(有形登録文化財)

●募集人数：45名(先着制)※バスの席数、セッション会場の席数に限りがありますので、ご了承ください

●申し込みは下記の「申し込み方法」を参照ください。

■現地見学・現場セッション(11月23日)【事前申し込み制】

●参加費 ※11月24日の大会参加費とは【別途徴収】となります。

会員(賛助会員含む) 1,500円

非会員 2,000円

学生 1,000円

■大会参加費(11月24日)

●参加費

会員(賛助会員含む) 3,000円

会員外 4,000円

学生 1,500円

※シンポジウムのみ参加は無料

■交流会(11月24日)【事前申し込み制】

●参加費

一般 4,000円

学生 2,000円

●ご参加の方は、下記の「申し込み方法」をご参照ください。

●申込み期限：11月10日

◆申し込み方法

現地見学会・現地セッション、交流会に参加される方は、(1)氏名、(2)所属、(3)連絡先(メールアドレス、電話番号)を明記いただき、下記連絡先まで、e-mailでお申し込みください。※お申し込みにあたり件名もしくは本文には、「見学会参加」「交流会参加」「見学会・交流会参両方参加」など、見学会と交流会のどちらに参加されるか、あるいは両方参加されるかが分かりやすいよう、記すようにしてください。

◆見学会・交流会お申込み先

日本造園学会関東支部事務局(担当：栗野隆)

TEL 03-5477-2428 FAX 00-5477-2625(東京農業大学造園科学科内)

E-mail kanto.jila@gmail.com

◆お問い合わせ

日本造園学会関東支部事務局(担当：木下 剛/千葉大学園芸学部 緑地環境学科)

TEL 047-308-8877 FAX 047-308-8878

E-mail kanto.jila@gmail.com

主催：公益社団法人日本造園学会関東支部

共催：筑波大学

後援：つくば市、独立行政法人都市再生機構首都圏ニュータウン本部茨城地域事業本部

日本造園学会関東支部

公開シンポジウム「住み続けたいつくば、住み続けられるつくば」

日時 2012年11月24日(土) 15:20~17:20

場所：筑波大学筑波キャンパス体芸5C棟

つくばは自然が豊かで、都市機能が充実し、最先端の科学技術の知が集積した知的エリアです。つくばに住み働く人は、まちに誇りをもち、訪れる人にとっては魅力的で活力のある生活の舞台となります。ランドスケープのまちづくりも、公園整備などのハードウェア中心から、そこで展開される人々の営みや情報・交流等を含む文化的な生活の舞台づくりへと変化しています。つくばのまちづくりの経緯を札幌学院大学の太田清澄先生に基調講演して頂きます。話題提供では、筑波山梅林再生を行っている筑波大学の鈴木雅和先生、里山の管理を行っている東海大学の田中伸彦先生、竜巻被害報告と復興の方向性を筑波大学学生の嶋真史さん、生物多様性都市のデザインを行っている鹿島建設の山田順之さんに話題提供をして頂きます。

開会の挨拶

東京都建設局 町田 誠 (5分)

基調講演

札幌学院大学 太田清澄 (30分) 新都市のみどりの系の構築

話題提供者

筑波大学 鈴木雅和 (15分) 筑波山梅林再生プロジェクト

東海大学 田中伸彦 (15分) デスティネーションとしての里山管理

筑波大学 嶋 真史 (15分) つくば市北条地区の竜巻被害と復興の方向性

鹿島建設 山田順之 (15分) 生物多様性都市への取組み - ビオフィリックデザイン -

コメンテーター

独立行政法人都市再生機構 小木曾裕 (10分)

閉会の挨拶

戸田芳樹風景計画 戸田芳樹 (5分)

司会 古谷勝則

担当 古谷、町田

日本造園学会関東支部
公開シンポジウム

「住み続けたいつくば、住み続けられるつくば」

日時 2012年11月24日(土) 15:20~17:20

場所：筑波大学筑波キャンパス体芸5C棟

開会の挨拶 町田 誠 (マチダマコト) 東京都建設局公園緑地部長

基調講演

太田清澄 (オオタキヨズミ) 札幌学院大学教授 新都市のみどりの系の構築
日本住宅公団(現 独立行政法人都市再生機構)で、つくば市の仕事にかかわる



話題提供者

鈴木雅和 (スズキマサカズ) 筑波大学芸術学系教授 筑波山梅林再生プロジェクト
大学ではランドスケープデザイン及び環境デザインを担当、造園学会賞受賞



田中伸彦 (タナカノブヒコ) 東海大学観光学部教授 デスティネーションとしての里山管理
専門は観光学、森林風致計画学。森林総合研究所などを経て現職



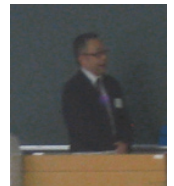
嶋 真史 (シママサフミ) 筑波大学学生 つくば市北条地区の竜巻被害と復興の方向性

山田順之 (ヤマダヨリユキ) 鹿島建設次長 生物多様性都市への取組み-ビオフィリックデザイン-
ペンシルバニア大学大学院修了、グッドデザインフロンティア賞、土木学会環境賞受賞



コメンテーター

小木曾裕 (コギソユタカ) 独立行政法人都市再生機構 東京農業大学客員教授
緑地整備や公園ストックの評価が専門。現在、日本造園学会関東支部長



閉会の挨拶 戸田芳樹 (トダヨシキ) 戸田芳樹風景計画代表取締役
司会 古谷勝則 (フルヤカツノリ) 千葉大学大学院准教授